



FUCHU CITY

議会だより

No.
121

発行／府中市議会議長 令和8年8月14日発行 編集・広報広聴特別委員会
TEL(0847)44-9182・FAX(0847)45-3212 ホームページ <https://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

府中市議会情報誌
第121号



府中の夏がやってきた

府中の夏を彩る三郎の滝とオオムラサキ。7月5日に「オオムラサキを自然に帰す集い」と「三郎の滝開き」が行われました。どちらも40年以上もかけて地域の人々が大切に作り上げてきた府中市の観光資源です。

今回はそれぞれを管理されている浦上昇さん（左）、後藤功さん（右）のお二人にフォーカス。滝開き、放蝶の時だけでなく、日々の絶え間ない努力こそが、毎夏の絶景を生み出しています。長年のご努力と熱意に敬意を表します。



6月議会

令和8年度府中市一般会計補正予算等を可決

6月定例会は、6月15日から6月30日まで16日間開き、議案22件、報告4件、意見書2件を審議、議決しました。

主 な 審 議

- ・副市長の選任の同意について（杉本 真一さん）

同意

- ・教育長の任命の同意について（門田 雄治さん）

同意

- ・財産の取得について

システム食器洗浄機及びスチームコンベクションオーブンについて、耐用年数は8～10年とされているところ、20年が経過し老朽化が進んでいることから、計画的に更新を行い、効率的で安定した給食事業の運営を図るため更新する。

原案可決

- ・府中市こどもの国条例の一部改正について

令和9年度からの新たな指定管理期間に向けて、指定管理者による利用料金の設定を可能とすることで、施設運営の柔軟性を高め、施設の利便性や稼働率の向上につなげることを目的として、所要の整備を行う。

原案可決

- ・令和8年度府中市一般会計補正予算（第1号）について

百寿お祝い事業及び避難所環境整備事業など、歳入歳出それぞれ4,701万4千円を増額し、総額219億7,701万円4千円とする。

原案可決

- ・令和8年度府中市一般会計補正予算（第2号）について

省エネ経費削減補助金など、歳入歳出それぞれ1,500万円を増額し、総額219億9,201万円4千円とする。

原案可決

意 見 書

- ・核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

原案可決

- ・2027年度予算編成にあたって地方税財政の充実強化を求める意見書

原案可決

一般質問

Q & A

6月18日、19日 15人の議員が
市政を問う！



COMMONS未来
かとう よしひで
加藤 吉秀

副市長の人事



Q 任命に向けた現状を伺う。

A 副市長が不在であっても、行政の中では市政運営に支障が出ないように対応している。しかしながら、財政再建や地域経済、交通、医療など、横断的な課題を解決するためには副市長の存在が重要。この議会において、速やかに選任同意の議案を上程できるように進める。



COMMONS未来
いわむら ゆうた
岩室 雄大

業務の可視化



Q 業務改善方針について伺う。

A 業務の属人化、部局間の縦割り、対面を前提としたアナログな業務プロセスは見直していくべき課題であると考えている。業務を見える化し、属人的な仕事を組織全体の仕事に変えること、また部局を越えて横断的に対応すること、そしてDXを活用し、市民の利便性、職員の生産性を高めることに取り組む。



市民クラブ
みず た ゆか
水田 豊

上下高校の存続



Q 県立上下高校の存続支援と具体的な情報提供について伺う。

A 上下高校は上下地域の学びの場であり、若い世代の地域とのつながり、将来的な定住、地域活力の維持にも関わる重要な社会基盤である。上下のみならず、市全体にとっても大切な存在だ。市の通学支援、県立広島大学の学生による月2回の学習支援並びに地域の皆さまの支援も含め情報発信していく。具体的には、市長部局、教育部と話をし、決めていきたい。



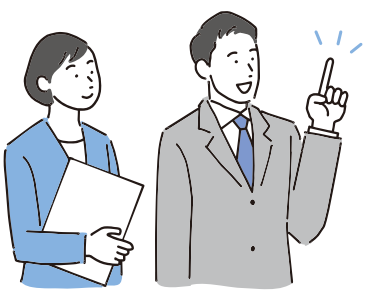
市民クラブ
しばうち のりあき
芝内 則明

組織の構造的改革



Q 担当分野以外の法令や条例に無関心で業務がなされていると認識している。しっかりと横串が入り、市民一人ひとりの権利が守られる職員の意識改革が必要ではないか。

A 市民の安心安全を土台として、人権尊重、また個人情報保護の保護、法令遵守の考え方が重要。したがって、まずは職員の研修、管理監督体制の強化、また情報共有、そして確認体制の見直しを通じて、市役所の実務と組織風土を改めることを最優先でやっていきたいと考えている。



市民クラブ
どい もとじ
土井 基司

レセプション等への 公金支出



Q 「小中一貫教育全国サミット」のレセプションの料理代不足分を、架空請求をもとに支払った事案の根本原因は、飲食代を公費負担にすると決めたことにあると考える。今後の対応を伺う。

A 単なる懇親ではなく、府中の魅力を発信する大会関連事業として、公費負担も可能と認識していた。結果については重く受けとめる。単なる飲食、親睦は適切ではないが、明確な政策目的、公益性がある場合は適正に支出を判断すべきだと思っている。



新生府中
ほんじょう ひろあき
本谷 宏行

「市民の信頼回復」と 「新市長の行財政運営 の基本方針」



Q 不適切な事務処理等で低下した市民の信頼をどう回復するのか。また、厳しい財政状況下での今後の行財政運営の基本方針は何か。

A ルール徹底やチェック機能強化で再発防止を図り、事実の公表と丁寧な説明で信頼を回復する。また、財政運営は現状を隠さず事業の優先順位を明確にし、「財政を立て直しながら、未来への投資をとめない」姿勢で持続可能な市政を目指す。



新生府中
くにもる まさゆき
国丸 昌之

公立病院の経営の あり方



Q 現在の公立病院の経営状態について、どのように考え、どういった時間軸で結論を出そうとお考えか。

A 総務省の繰り出し基準に沿って、病院に係る交付税算定額の枠内で繰り出しを行い経営しているが、経営の問題は認識している。病院経営の現状、課題、将来の見通しを整理し、年度内にはしっかりした議論を開始したい。また、県の新たな地域医療構想も踏まえ、当市に必要な医療の姿、公立病院の役割について方向性を見いだしたい。



新生府中
たなべ みのる
田辺 稔

周辺部生活環境の 地域格差



Q 財政再建の過程で、高齢化と過疎化が進む周辺部では生活環境の分野で市中心部とひずみが出ている。地域格差をどう修復していくつもりか。

A 周辺部で安心して暮らし続けるための道路、交通、農業や防災地域コミュニティを守ることも、府中市にとって重要な未来への投資と考えている。中心部と周辺部を対立で捉えることなく、地域の実情を見極めて、生活に直結する道路・交通支援等について優先順位を明確にして取り組むたい。



新生府中
ふじもと ひでのり
藤本 秀範

府中駅と南側の 連絡通路



Q 府中駅南側を結ぶ通路について、JRとの協議を含め、どう進めていくのか伺う。

A 現在、駅の南北を結ぶ立体的な自由通路と平面交差について、駅周辺施設を利用する市民や来訪者の視点に立ち、使いやすさの観点から整備方針を再整理するよう市長から庁内指示が出ている。また、I C O C A の導入に向け、福塩線対策協議会からJR西日本中国統括本部へ要望書を提出している。この導入の可否によっても整備の方向性が変わってくる認識している。



公明党
まつばら はるみ
松原 晴美

乳がん・子宮がん検診の 受診しやすい受け入れ体制



Q 受診しやすい取り組みとして受診時間の拡充は有効であると考えますが、実施に当たっての課題を伺う。

A 夜間検診は対応機関の不足、財政コストのバランスを取ることが課題。夕方・夜間の実施については現状難しいが、土日の検診実施については、今後もしっかり確保していきたい。また、現在あまり行っていない午後の時間帯の拡大実施について、乳がん検診や子宮頸がん検診にしばった実施など、関係機関と調整しながら前向きに検討を進めたい。



公明党
かしま ひろのぶ
加島 広宣

家庭ごみ処理有料指定袋



Q 有料指定ごみ袋制度の全面廃止が難しくても、例えばペットボトルなど、一部の品目だけでも一般の透明袋などを出すといったルールに見直す考えはあるか。

A 現時点で具体的な検討はしていないが、制度をこのまま未来永劫続ける考えではない。提案も含め、今後も最適な方法を検討していきたい。



日本共産党
みうら なおと
三浦 直人

住民の移動の支援



Q ぐるっとバスなどの住民の移動の確保において、中須町や市北西部地域などの皆さまから、運行を望む声がある。市として、こうした要望にどのように応えていこうとしているのか。

A 市としては、ぐるっとバスを単純に広げるということではなく、地域の実情に応じてバス、鉄道、タクシー、デマンド交通を組み合わせることで、移動支援の形をつくっていききたいと考えている。



日本共産党
おかだ たかゆき
岡田 隆行

翁座へのトイレの 設置は急務



Q 翁座は白壁の町並みとともに市の重要な観光資源である。昨年の12月議会でも利用者の声を紹介しながらトイレ設置の緊急性を主張したが、改善に向けての現在の進捗状況はどうか。

A 翁座周辺に來られた方などが利用しやすいトイレを今年度中に整備していく。そのため、広島県に対して補助事業の申請をすでに行っている。今後は事業の主体となる協議会を立ち上げて取り組んでいきたい。



無所属
すえふさ ひでくに
末房 秀国

消防団の定年制廃止後の 現状



Q 定年制廃止に伴い、消防車両の運転が可能な自主防災隊員の登録を停止した理由と経緯を伺う。

A 市は平成23年より、消防経験者を自主防災隊員として登録し、現役でなくても活動できる制度を運用してきたが、定年制廃止による人員確保の見通しが立ち、新規受付を停止。しかし、経験者の高い貢献意欲と地域防災力の持続可能性を考慮し、消防団の再加入が困難で、またそのような登録申請の要望が一定数あれば、自主防災隊員の登録受付を、指揮・安全管理体制の維持を条件に再開する。



無所属
もりわか ようこ
森若 遥子

指定管理への地元参入を



Q 指定管理者選定において、実績のない地元企業などを育成するために、実績点を加味しない採点を行う考えはあるか。

A 公平・公正、安定的なサービス提供の観点から、実績点は評価要素として合理性がある一方で、新規参入しようとする事業者にも不利に働く可能性があることも理解する。他自治体では実績点を廃止して地域貢献などを評価している例もあり、本来の指定管理の目的を軸に、今年度の選定から評価項目の検討、見直しを行いたい。



委員会での審査

総務文教常任委員会

●議案第54号 財産の取得について（府中市学校給食センター内の厨房機器の更新）（原案可決）

Q システム食器洗浄機及びスチームコンベクションオープンについて、耐用年数の倍の期間使用しているが、事故など発生していないか、また業者決定のポイントを伺う。

A 機器の老朽化で食器洗浄機の食器移動レーン停止等の作業支障や、配管の漏水・蒸気噴出による緊急修繕が増加している。こうした中、入札に参加した唯一の業者が落札した。この事業者は平成18年度の学校給食センター稼働時に、ほぼ全ての大型厨房機器の製造から設置を行った実績を持つ。

厚生常任委員会

●議案第57号 府中市こどもの国条例の一部改正について（原案可決）

Q 今回の条例の一部改正では、指定管理者の公募の際に、使用料と利用料が両方選択可能となり、令和9年度の公募からその運用が始まるが、どのように契約に反映していくのか伺う。

A 令和9年度からの指定管理者公募において、使用

料か利用料かの選択を募集要項等に反映する。この改正により、指定管理者は限度額内で利用者のニーズに応じた金額設定が可能となり、既存より低い価格設定もできるため、より柔軟な施設運営の企画や工夫が期待できる。

建設産業常任委員会

●議案第55号 市道路線の一部廃止について（鵜飼22号線）（原案可決）

Q 市道廃止において公益上の支障がないと判断に至った理由及び今回の廃止が今後の府中市や市民に与える影響と効果を伺う。

A 突き当たりの当該道路は、面する2区画の土地が1人の所有となり、隣接地の同意も得られ公益上の支障や交通への影響がないため払い下げと市道廃止を判断した。このパターンでの廃止は初であり、今後も事案は少ないと見られるが、廃止基準に基づき、適合するものは適切に判断していく。



予算特別委員会での審査

総務文教分科会

●議案第58号 令和8年度府中市一般会計補正予算（第1号）について（避難所環境整備事業）

Q 補正の理由と経緯について伺う。

A 国や県による地震被害想定の見直しで、耐震化向上に伴い人的・建物被害は減少する一方、避難者数は増加するとされた。府中市は30年以内に高確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震に早急に備えるため、災害関連死の予防において優先度の高いトイレや寝具等の物資拡充を図る。

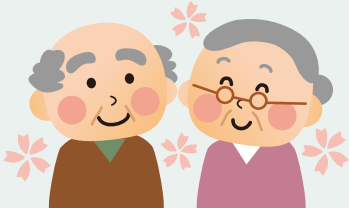
厚生分科会

●議案第58号 令和8年度府中市一般会計補正予算（第1号）について（百寿お祝い事業）

Q 新規事業として補正予算を組み、この時期に提案をしたのはなぜか、また昨年度にさかのぼって実施予定だが、対象者の中にはすでに御逝去された方もおられると思う。その場合、市としてどのように対応するのか伺う。

A 100歳を迎える方への敬意や人生に寄り添う思いから、5月就任後最短の6月議会に補正予算を提案し

た。既逝去者は対象外で記念品は送れないが、本人や遺族へ心から敬意を伝え、遺族からの相談等には制度趣旨を丁寧に説明するなど配慮を尽くす。



建設産業分科会

●議案第58号 令和8年度府中市一般会計補正予算（第1号）について（債務負担行為）

Q 現在の指定管理者の指定管理料と、今回の補正予算で上程されている債務負担行為の指定管理料全体（17施設）としての上限額の差額はいくらか。またその算定根拠を伺う。

A 現在の指定管理料と補正予算案全体の上限額の差額は約2億2400万円であり、性質は異なるが人件費や物価高騰、期間中の将来的な動向を考慮している。実際の指定管理料は、応募事業者からの提案内容などを踏まえて決定していく。

6月議会本会議での各議員の議決結果（賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください）

議員名		加藤	田辺	本谷	福田	水田	岩室	真田	藤本	土井	加島	岡田	国丸	芝内	松原	三浦	末房	森若	広瀬
議案名		吉秀	稔	宏行	勉	豊	雄大	光夫	秀範	基司	広宣	隆行	昌之	則明	晴美	直人	秀国	遥子	和彦
人事	副市長の選任の同意について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事	教育長の任命の同意について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
事件	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
事件	市道路線の一部廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例	府中市行政財産の使用料に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例	府中市こどもの国条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	令和8年度府中市一般会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	令和8年度府中市一般会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	令和8年度府中市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	令和8年度府中市下水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

（一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと）

討論

議案第61号
副市長の選任の同意について

反対討論

COMMONS未来 岩室 雄大
選定理由にある行政経験や組織調整力、合意形成力等は、現職の職員や市長でも代替可能。今求められているのは、当市を熟知した人物ではなく、現組織が持ち得ない知見を有する民間での実績者や女性など、多様な属性の登用である。昨今では、公募を行う自治体もある。9月に向け、十分再考し得る内容のため反対する。

賛成討論

新生府中 福田 勉
任命理由として、市長は、これまでの行政経験の中で育まれた調整力、合意形成力、組織を動かす力を高く評価している。また、本市が直面する人口減少、経済、財政健全化、地域交通、医療福祉、子育て、教育などの課題は、一つの部局だけで解決できるものではなく、庁内横断的に政策を進める必要があるという答弁がなされた。杉本氏は副市長として最適であると認め賛成する。

議案第62号
教育長の任命の同意について

反対討論

COMMONS未来 岩室 雄大
現体制は荻野市長、杉本副市長、現場には経験豊富な門田氏がいる。市長が掲げる教育推進には、新たな視点や異なる属性を持つ人材の登用こそが必要。今求められるのは、既存の枠組みを熟知した人ではなく、現在の教育行政にない知見をもたらす人物であり、9月の任命でも十分に間に合うと考え、本案に反対する。

賛成討論

新生府中 福田 勉
任命理由を市長が答弁した通り、門田氏は教育長として適任であると認め、賛成する。また、先ほど岩室議員から9月議会でも遅くはないのではないかといった発言があったが、教育長の空白はあり得ないということもあわせて賛成する。

賛成討論

日本共産党 岡田 隆行
門田氏の資質や能力において、教員時代の保護者や教え子からの評価も高く、人格的にも適任と考える。また現在、市の抱える教育問題を解決していく上での手腕も、教育部長時代の諸活動から高いものがあると判断できる。さらに、教育長任命までに空白期間をつくらないことが必要と考え賛成する。

令和7年度政務活動費の報告

各会派及び無所属議員に政務活動費として議員一人当たり、年間24万円交付がされます。
政務活動費の詳細は、府中市ホームページでご確認ください。 ※ホームページはこちら



(単位:円)

会派名	人数	支給額	使用額計	使用項目	項目別使用額	主な使用項目・行先	主 な 内 容
創生会	6 人	1,440,000円	1,324,234円 交付金の返還額 (▲115,766円)	研究研修費	240,420円	JIAM研修、講師旅費 等	「人口減少における地域の課題」「試練の時代の自治体病院経営」 等
				資料購入費	26,400円	議員NAVI Plus	購読料（12カ月分）
				調 査 旅 費	596,294円	千代田区、多摩市、さいたま市 等	「GIGAスクール、生成AI時代の学習指導要領改訂を考える」「中小企業の経済支援・スポーツによる地域振興」 等
				広 報 費	461,120円	広報紙発行印刷費、折り込み料 等	「創生会タイムズ」発行
市民クラブ	3 人	720,000円	645,583円 交付金の返還額 (▲74,417円)	調 査 旅 費	198,840円	氷見市、鯖江市、坂井市	「NPO法人住民主体バス」「シティプロモーション」「三国病院の経営」 等
				広 報 費	442,133円	広報紙発行印刷費、折り込み料 等	「市民クラブニュース」発行
				広 聴 費	4,610円	議会報告会	施設使用料
経政会	3 人	720,000円	484,921円 交付金の返還額 (▲235,079円)	研究研修費	135,760円	JIAM研修、尾道市 等	「社会保障・社会福祉」「人口減少問題の課題や対策などに関する研修」 等
				調 査 旅 費	349,161円	千代田区、多摩市、さいたま市	「中小企業の経済支援・スポーツによる地域振興」「ゴミ出しサポート事業」「地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業」 等
COMMONS未来	3 人	720,000円	443,354円 交付金の返還額 (▲276,646円)	研究研修費	50,000円	講師料	「認知症世界の歩き方」
				調 査 旅 費	341,937円	東川町、千代田区 等	「多文化共生・文化での町おこし」 等
				広 報 費	51,417円	活動報告書印刷費 等	「COMMONS未来」2025年度活動報告書
公明党	2 人	480,000円	244,833円 交付金の返還額 (▲235,167円)	調 査 旅 費	244,833円	光市、東川町、千代田区 等	「持続可能な農業」「多文化共生・文化での町おこし」 等
無所属	岡田隆行	240,000円	240,000円	研究研修費	64,636円	千代田区	「この1年から考える地方自治と地域」 等
				資料購入費	54,400円	新聞購読料 等	日本教育新聞購読料（令和7年4月～令和8年3月） 等
				広 報 費	120,964円	広報紙発行印刷費、折り込み料 等	「たんぽぽ」発行



令和8年5月からの新体制

※この写真は令和8年5月時点の体制です。※令和8年7月1日より、教育長 杉本真一氏が副市長に、門田雄治氏が教育長に就任しています。

1列目

田辺 稔 監査委員

加島 広宣 副議長

広瀬 和彦 議長

荻野 雅裕 市長

杉本 真一 教育長

(令和8年7月1日より
副市長就任)

加藤 吉秀 議員

2列目

真田 光夫 議員

芝内 則明 議員

福田 勉 議員

岡田 隆行 議員

土井 基司 議員

本谷 宏行 議員

水田 豊 議員

3列目

小林 正樹 事務局長

森若 遥子 議員

松原 晴美 議員

末房 秀国 議員

三浦 直人 議員

国丸 昌之 議員

岩室 雄大 議員

藤本 秀範 議員

議長就任あいさつ

広瀬 和彦



このたび議長に就任し、その責任の重さを改めて感じております。現在、本市が直面する課題に真正面から向き合い、市長と建設的な政策議論を重ね、府中市の再生に全力で取り組んでまいります。また、議会の監視機能と政策提言機能を高めるとともに、市民に開かれた議会を目指して議会改革を進め、議員定数のあり方についても将来を見据え、丁寧に議論してまいります。今後とも市民の皆さまの御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ

加島 広宣



このたび、副議長に就任いたしました。議長を支え、公正・公平で円滑な議会運営に努めてまいります。今、本市を取り巻く課題は多様化しています。だからこそ、現状に満足することなく、新たな発想と挑戦を行い、市民の皆様との対話を大切にし、改革と挑戦を続ける議会を目指してまいります。市民に信頼され、未来につながる府中市の実現に全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

監査委員就任あいさつ

田辺 稔



この度、私は監査委員として2度目の選任となりました。府中市においては、財政調整基金の枯渇という重大な課題に直面する中、不適切な事務処理が発覚し、市民の皆様にご迷惑をおかけしています。監査委員の立場から、予算執行が適正に行われているかをしっかりと確認し、市民の皆様の大変な税金が、適正かつ効果的に活用されるよう努めてまいります。何とぞよろしくお願い申し上げます。

議会の動き（4～6月）

- | | |
|-------------|--|
| 5月11日 | 新人議員説明会 |
| 5月18日 | 第2回府中市議会臨時会 |
| 5月25日 | 建設産業委員会（行政視察） |
| 5月26日 | 厚生委員会（所管事務調査、行政視察、管内視察） |
| 5月28日 | 総務文教委員会（行政視察、管内視察） |
| 6月3日 | 総務文教委員会（行政視察、管内視察） |
| 6月6日 | 備後国府まつり（パレード参加） |
| 6月8日 | 広報広聴特別委員会（前委員会からの申し送り（引き継ぎ）、部会の設置及び所属についてなど） |
| 6月9日 | 議会運営委員会（6月議会運営） |
| 6月11日 | 建設産業委員会（執行部からの説明） |
| 6月11日 | 厚生委員会（行政視察） |
| 6月15日～6月30日 | 第2回府中市議会定例会 |
| 6月15日 | 広報広聴特別委員会（議会だより編集会議） |
| 6月30日 | 議会運営委員会（6月議会運営） |
| 6月30日 | 広報広聴特別委員会（議員と語る会打ち合わせなど） |

視察の受け入れ

5月19日 秋田県大仙市（湯が丘病院）

編集後記

4月の選挙により5人の新人が加わり、大きく刷新された当市議会。同時に誕生した新市長に加え、今議会では副市長と教育長の人事も決定し、行政と議会のすべてが生まれ変わる「完全新体制」がスタートしました。新しい風が吹く、変わった市議会に注目ください。新体制が交わす熱い議論の様子を、今後も市民の皆さまへ丁寧に伝えたいと思います。新しく動き出すこの市の未来に、大きな期待をお寄せください。

（末房）

議会だよりへのご意見・感想お待ちしております。
TEL(0847)44-9182
FAX(0847)45-3212